

コンセプトは  
温故**創**新・西陣

## 「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」の策定について

京都市では、歴史や文化に培われた多彩な魅力・資源、地域力や人間力を最大限に活かした西陣を中心とした地域の活性化の指針となるビジョンを策定するため、学識経験者や地域、各分野の関係者、市民公募委員で構成する「京都市西陣を中心とした地域活性化ビジョン検討委員会」（以下「検討委員会」という。）へ諮問し、目指すべき将来像や、その実現のために必要な施策等の検討を進めてきました。

この度、検討委員会からの答申を踏まえ、「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」を策定しましたので、お知らせします。

今後、活性化ビジョンに基づき、西陣の誇る資源と変革を繰り返して発展を続ける精神を最大限に発揮しつつ、文化を基軸に経済や観光とも融合させながら、新たな西陣の未来を拓くまちづくりを推進していきます。

### 記

#### 1 活性化ビジョンの概要

##### (1) ビジョンの基本事項

###### ア 期間

50年先の将来像を描き、今後約10年間（平成30年度～平成40年度）の取組を具体化

###### イ 策定の考え方

- ・市民や地域、事業者、行政など地域に関わる幅広い主体の役割分担の下、ひとつごとではなく、「自分ごと」「みんなごと」で進めるビジョンとする。
- ・西陣を中心とした地域の活性化を図り、ひいては、京都全体の活性化につなげていく。

##### (2) 地域の将来像 【別紙1参照】

###### ア 将来像を展望するコンセプト

「つながりによる創造」と「変革によるまちの継承」 温故**創**新・西陣

### 温故**創**新・西陣

伝統をベースに時代ごとの新たな知恵、技術を取り入れて、変革を繰り返しながら発展を続けてきた地域の特色を「温故**創**新・西陣」として、活性化ビジョンのコンセプトに掲げています。

###### イ 4つの将来像

概ね50年後を見据え長期的な見地に立った4つの将来像を設定

### (3) ビジョンの全体像 【別紙2参照】

将来像を実現するため、分野別の3つの柱と活性化の土台の下、11の方策を掲げ、多様な主体の協働によるまちづくりを推進

## 2 活性化ビジョンの周知方法

京都市情報館 (<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/soshiki/2-13-0-0-0.html>) で公開するほか、平成31年2月中旬頃から、市役所、各区役所・支所等で冊子を配布します。

### (参考1) 西陣を中心とした地域

西陣織をはじめとした伝統産業や伝統文化・伝統芸能、寺社、花街の文化、歴史的な町並み、商店街、観光スポットなど、多彩な魅力・資源を有しており、千年以上にわたり、京都の、そして日本の中心として、伝統をベースに時代ごとの新たな知恵、技術を取り入れて、変革を繰り返して発展し続けてきた地域。

### (参考2) 検討経過

平成29年 12月23日	第1回検討委員会 ・各種データ・調査結果に基づく ポテンシャルと課題の検討・整理 ・将来像、活性化の方向性等についての議論
平成30年 3月22日	第2回検討委員会 ・将来像の検討・整理 ・活性化の方向性等の検討
6月15日	第3回検討委員会 ・活性化ビジョンの構成の検討 ・活性化に向けた方策の検討
9月19日	第4回検討委員会 ・活性化ビジョン素案の検討
10月26日	「西陣を中心とした地域活性化ビジョン(案)」に関する 市民意見募集(～11月26日)
12月14日	第5回検討委員会 ・市民意見募集の結果 ・活性化ビジョン答申案の確認
12月21日	「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」 答申

### ❖ 将来を展望するコンセプト

#### 「つながりによる創造」

西陣の様々な資源（人、もの、寺社、大学など）をつなぐことで、新たな展開を生み出し、価値を創造する。

#### 「変革によるまちの継承」

西陣のまちを継承し伝統にするためには、様々な変化を生み出し、それを許容する風土が必要。

## 温故**創**新・西陣

### ❖ 活性化に向けた将来像

暮らしの中に和の文化が色濃くあり、住民が生活に根付いた文化を体現し、世代を越えて継承しているまち

京町家や路地空間が生活・仕事の間として継承・活用される、落ち着いた町並みの住みやすいまち

住民が自らの住む「西陣」に愛着や誇りをもって暮らし、地域外の人々に訪れたい、住みたいと思われるまち

多様な人々が、地域の中で住み働き、交流する中で、絶えず新たな価値が生み出される、賑わいのあるまち



❖ 活性化ビジョンの全体像 3つの柱と土台, 11の方策

